

掛川市の財政状況

平成26年11月20日

財 政 課

1 県内各市の財政状況等

(平成24年度普通会計)

市名	人口 (H25.3.31現在) (人)		標準財政規模 (千円)		市税収入 (千円)		法人市民税収入 (千円)		財政力指数 H24単年		起債現在高 (千円)		経常収支比率 (%)		実質公債費比率 (%)		将来負担比率 (%)	
	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値
浜松市	1	812,762	1	175,029,917	1	124,509,094	2	10,483,212	13	0.867	2	279,030,457	3	89.6	10	11.5	19	28.3
静岡市	2	719,188	2	163,439,162	2	124,448,566	1	11,376,277	10	0.891	1	406,564,968	1	91.5	10	11.5	4	87.3
富士市	3	259,339	3	49,045,582	3	46,397,630	3	3,916,178	3	0.988	4	72,861,699	21	81.7	22	5.8	14	56.8
沼津市	4	205,887	4	40,504,293	4	35,661,206	4	3,322,333	6	0.958	3	73,279,443	16	83.7	20	7.7	7	79.6
磐田市	5	171,539	5	38,488,180	5	26,348,620	5	2,159,589	14	0.864	5	60,462,154	11	85.7	3	13.2	13	63.9
藤枝市	6	146,214	7	27,383,536	7	20,434,635	10	1,539,933	16	0.837	6	51,344,630	14	84.6	4	12.8	8	70.3
焼津市	7	144,543	6	27,658,241	6	21,286,429	8	1,657,829	12	0.881	7	50,322,307	21	81.7	14	9.8	12	65.5
富士宮市	8	135,492	9	25,741,227	9	20,347,281	7	1,833,587	11	0.887	11	30,998,306	14	84.6	12	10.1	18	42.7
掛川市	9	118,022	8	26,357,266	8	20,373,281	6	1,869,311	7	0.907	8	46,807,854	13	84.7	8	11.8	1	123.5
三島市	10	112,632	11	20,384,869	10	16,849,219	13	1,098,859	9	0.897	10	37,793,150	19	82.1	19	7.8	20	27.9
島田市	11	101,693	10	21,811,272	13	14,280,591	14	832,065	20	0.746	9	42,829,458	2	89.8	13	10.0	15	51.5
御殿場市	12	89,318	13	17,490,276	11	15,199,479	11	1,533,858	4	0.971	12	27,503,134	17	83.4	5	12.5	2	98.4
袋井市	13	86,859	12	19,267,566	12	14,447,733	9	1,571,998	15	0.853	13	24,767,943	10	87.4	6	12.3	3	96.4
伊東市	14	72,816	14	14,990,231	14	11,204,623	18	554,462	18	0.765	14	23,123,656	17	83.4	15	9.7	16	45.5
湖西市	15	61,486	15	13,583,593	15	10,815,140	16	682,021	5	0.969	19	18,259,367	8	87.5	9	11.6	10	69.8
裾野市	16	53,814	19	10,938,004	16	10,439,070	12	1,340,703	2	0.989	16	19,455,645	6	88.2	16	9.6	22	6.9
伊豆の国市	17	50,052	17	11,737,129	21	6,515,715	21	333,779	19	0.757	17	18,953,755	8	87.5	17	8.8	11	66.3
牧之原市	18	49,055	16	12,173,309	19	7,714,339	15	683,638	17	0.810	15	19,709,248	12	85.3	1	18.6	6	81.2
菊川市	19	47,934	18	11,446,746	20	6,911,947	17	563,427	21	0.736	18	18,673,599	5	88.4	2	14.9	5	81.3
熱海市	20	39,287	22	10,129,810	17	9,791,024	20	447,587	8	0.899	20	16,417,631	6	88.2	20	7.7	17	44.1
御前崎市	21	34,702	21	10,812,637	18	8,664,828	19	450,731	1	1.103	23	3,793,077	23	80.4	23	3.6	23	0.0
伊豆市	22	33,855	20	10,877,564	22	4,419,349	22	174,744	22	0.571	21	13,829,480	20	81.8	18	8.5	21	10.9
下田市	23	24,230	23	6,113,722	23	2,961,470	23	140,880	23	0.500	22	7,469,401	4	88.9	7	12.1	9	70.1

2 主な財政指標の比較

項目	掛川市	全国都市平均	県下都市平均
財政力指数 (単年度)	24年度 0.91	24年度 0.62	24年度 0.85
	自治体が通常収入できる税収を通常の行政サービスを行うのに必要な経費で割った率。指数が高いほど財政的に豊かな自治体 (H25 0.91 H26 0.91)		
自主財源比率	24年度 61.7	24年度 49.5	24年度 59.0
	自治体が国などに頼らず自前で確保できる財源(市税、財産収入、使用料等)の歳入に占める割合で、自前の財源の度合いや足腰の強さの目安となり、高い方が望ましい。 (H25 57.6)		
経常収支比率	24年度 84.7	24年度 90.2	24年度 85.7
	地方税や普通交付税など使途が限定されず毎年収入される財源(経常一般財源)に対する、人件費や借入返済金など毎年支出しなければならない経費に充てた一般財源の割合。比率が高いほど財政が硬直化していることを示す。		
投資的経費比率	24年度 15.5	24年度 12.3	24年度 14.5
	投資的経費(普通建設事業、災害復旧事業)の歳出総額に占める割合。歳出に占める投資的経費の割合を見ることにより、将来に向けたストック形成にどの程度の経費を充てているかを判断する指標。値が高くなるほど、資本形成が充実し望ましい。		
義務的経費比率 (人件費、扶助費、公債費)	24年度 40.8	24年度 48.7	24年度 45.1
	義務的経費とは支出がほぼ義務づけられていて、容易に又は任意に削減できない経費で、具体的には人件費、扶助費、公債費をいう。この義務的経費の歳出総額に占める割合をいい、財政的な自由度を高めるためには、比率は低い程よい。		
実質公債費比率	24年度 11.8	24年度 9.2	24年度 10.7
	毎年の借入金等返済額のうち、一般財源の額が標準財政規模に占める割合を表す。公債費の償還額のほか、公営企業等の元利償還金、一部事務組合の公債費への負担金等の公債費類似経費が算入される。比率が18%を超えると地方債の発行に許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定した後でなければ新規借入れの許可がされない。比率が25%を超えると一定の種類の新規借入れは許可されない。 (H25 11.0) (H24 全国で比率が高い方から 669位/1,742団体)		
将来負担比率	24年度 123.5	24年度 60.0	24年度 58.3
	市町村の一般会計等が、将来負担することとなる負債の額の標準財政規模に対する割合を表す指標。地方債残高や、将来の公営企業への繰出、組合への負担見込額、退職手当の支給予定額、第3セクターへの損失補償額等、将来において負担が見込まれる額を合算し、基金等の充当可能財源を控除し、算定する。早期健全化基準は350.0% (H25 102.7) (H24 全国で比率が高い方から 182位/1,742団体)		
一人当たりの起債残高(年度末)	24年度 396,603円		24年度 382,066円
一人当たりの基金残高(年度末)	24年度 46,905円		24年度 56,310円
一人当たりの自主財源額	24年度 236,001円		24年度 210,791円

(注1) 全国都市平均数値は、「全国都市財政年報(全国789都市・23特別区 2012年度決算)」より抜粋
ただし、実質公債費比率及び将来負担比率は、総務省公表による全市区町村の平均値

(注2) 県下都市平均数値は、「平成24年度市町財政の状況」より抜粋 <県下23市の平均数値>

3 歳入の状況(普通会計)

(単位:千円)

区分	年度	平成22年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
		財政見通し(A)	決算額	決算額	決算額	決算額(B)	(B)/(A)
1 市税		19,160,471	20,427,513	20,697,392	20,373,281	20,759,894	1.08
	個人市民税	5,816,031	6,037,204	5,953,861	6,241,335	6,422,849	1.10
	法人市民税	919,060	1,793,183	1,878,041	1,869,311	2,059,807	2.24
	固定資産税	9,820,943	9,949,532	10,105,808	9,606,303	9,526,839	0.97
	たばこ税	618,366	648,204	754,587	747,872	826,820	1.34
	都市計画税	1,678,822	1,692,051	1,695,139	1,592,997	1,603,465	0.96
2 地方譲与税		580,000	601,720	587,276	551,333	524,825	0.90
3 利子割交付金		59,000	60,161	49,966	44,557	39,627	0.67
4 配当割交付金		8,400	27,341	30,451	34,486	64,911	7.73
5 株式等譲渡所得割交付金		7,200	10,176	8,707	9,277	113,545	15.77
6 地方消費税交付金		1,241,000	1,240,071	1,207,457	1,197,747	1,187,538	0.96
7 ゴルフ場利用税交付金		88,700	81,125	80,007	77,482	77,066	0.87
8 自動車所得税交付金		201,000	202,985	169,179	215,996	195,772	0.97
9 地方特例交付金		250,000	236,955	216,453	70,313	71,036	0.28
10 地方交付税		2,520,000	3,888,185	3,847,684	3,814,912	3,681,639	1.46
	普通交付税	1,720,000	2,936,306	2,883,758	2,901,520	2,827,294	1.64
	特別交付税	800,000	951,879	963,926	913,392	854,345	1.07
11 交通安全対策特別交付金		28,800	27,148	26,777	26,861	26,540	0.92
12 分担金及び負担金		518,466	609,381	589,159	595,814	611,675	1.18
13 使用料及び手数料		814,274	851,646	676,538	603,245	612,900	0.75
14 国庫支出金		3,751,308	4,740,179	4,119,363	4,075,879	5,190,258	1.38
15 県支出金		2,714,483	2,780,212	2,383,603	2,452,316	2,846,344	1.05
16 財産収入		49,270	221,634	85,514	70,512	126,507	2.57
17 寄附金		263,270	290,508	88,474	15,947	71,223	0.27
18 繰入金		1,547,143	130,036	1,347,861	1,948,916	481,916	0.31
19 繰越金		439,942	1,749,666	1,649,292	1,749,484	1,648,474	3.75
20 諸収入		3,218,061	3,079,704	2,611,580	2,496,125	2,568,085	0.80
21 市債		3,656,500	4,350,900	4,117,100	4,697,000	5,782,100	1.58
歳入合計		41,117,288	45,607,246	44,589,833	45,121,483	46,681,875	1.14

4 歳出(性質別)の状況(普通会計)

(単位:千円)

区分	年度	平成22年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
		財政見通し(A)	決算額	決算額	決算額	決算額(B)	(B)/(A)
1	人件費	5,973,584	5,875,100	6,145,504	6,211,856	6,035,547	1.01
	職員給	4,470,535	4,261,750	4,248,588	4,222,838	4,229,963	0.95
2	物件費	6,933,765	6,624,226	6,701,927	6,668,336	6,654,899	0.96
3	維持補修費	433,387	491,321	535,620	539,992	502,965	1.16
4	扶助費	5,943,779	5,946,823	6,289,166	6,313,745	6,433,136	1.08
5	補助費等	4,592,883	4,626,655	5,002,637	6,416,211	4,851,725	1.06
	その他	1,896,824	2,537,509	2,878,781	3,835,902	1,823,062	0.96
6	(1) 普通建設事業費	5,437,429	6,107,254	5,921,890	6,576,646	8,410,720	1.55
	補助事業費	1,300,318	1,758,557	1,197,788	1,812,476	2,848,371	2.19
	単独事業費	3,916,838	4,081,040	4,324,384	4,466,044	5,295,167	1.35
	県営事業負担金	220,273	267,657	399,718	298,126	267,182	1.21
	(2) 災害復旧事業費	170,252	75,653	149,635	158,324	103,275	0.61
	小計	5,607,681	6,182,907	6,071,525	6,734,970	8,513,995	1.52
7	貸付金	1,375,287	1,347,301	1,340,550	1,346,804	1,257,871	0.91
8	公債費	5,553,235	5,646,272	5,284,749	5,199,750	5,137,819	0.93
9	繰出金	3,771,195	3,721,474	3,388,327	3,352,283	3,384,156	0.90
10	積立金	339,981	3,090,447	758,904	525,976	1,681,136	4.94
11	出資金	404,605	405,428	1,321,295	163,086	358,436	0.89
12	予備費	187,906	0	0	0	0	—
歳出合計		41,117,288	43,957,954	42,840,204	43,473,009	44,811,685	1.09

5 掛川市の健全化判断比率について

(1) 健全化判断比率とは

財政指標の整備とその開示の徹底を図るとともに、財政指標が一定水準以上に悪化した場合に財政の早期健全化や再生を義務づけること等を内容とする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（いわゆる財政健全化法）が定められた（平成19年6月22日公布）。

＜健全化判断比率の公表と財政の早期健全化＞

- ・毎年度、4つの健全化判断比率（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率）を監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表しなければならない。
- ・健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上の場合は「財政健全化計画」、財政再生基準以上の場合は「財政再生計画」を、財政状況悪化の要因分析を踏まえ必要最長期間で各基準を下回るべく作成し、議会の議決を経て定め、速やかに公表しなければならない。

(2) 平成25年度決算に基づく健全化判断比率の状況

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	11.0	102.7
(11.99)	(16.99)	(25.0)	(350.0)

() 内は、財政健全化計画策定が求められる早期健全化基準。

(3) 健全化判断比率4指標について

①実質赤字比率：一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

②連結実質赤字比率：全会計を対象とした実質赤字（又は資金不足額）の標準財政規模に対する比率

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

③実質公債費比率：一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

$$\text{実質公債費比率 (3年平均)} = \frac{\begin{array}{l} \text{(地方債の元利償還金+準元利償還金) -} \\ \text{(特定財源+元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{標準財政規模 -} \\ \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{array}}$$

④将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{\begin{array}{l} \text{将来負担額 - (充当可能基金額+特定財源見込額+} \\ \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入額)} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{標準財政規模 -} \\ \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)} \end{array}}$$

平成25年度決算に基づく実質公債費比率と将来負担比率
県内市町比較表

(単位:%)

市町名称	健全化判断比率		実質公債費比率		将来負担比率	
	早期健全化基準	25.0	順位	350.0(市町)	順位	
	財政再生基準	35.0		400.0 (県・政令市)		
1	静岡市	10.3	12	76.2	5	
2	浜松市	10.8	11	8.8	27	
3	沼津市	6.8	29	64.1	7	
4	熱海市	8.4	22	51.1	16	
5	三島市	7.2	27	21.9	24	
6	富士宮市	8.7	20	34.0	21	
7	伊東市	9.3	16	23.0	23	
8	島田市	9.6	15	35.5	20	
9	富士市	4.9	34	55.0	13	
10	磐田市	12.1	6	45.4	19	
11	焼津市	9.3	16	47.0	18	
12	掛川市	11.0	9	102.7	2	
13	藤枝市	12.3	5	53.6	15	
14	御殿場市	12.4	4	85.7	4	
15	袋井市	10.9	10	57.1	12	
16	下田市	11.4	8	62.8	8	
17	裾野市	9.0	18	8.6	28	
18	湖西市	10.2	13	49.2	17	
19	伊豆市	7.1	28	16.7	25	
20	御前崎市	2.6	35	—	—	
21	菊川市	14.0	2	66.8	6	
22	伊豆の国市	8.7	20	54.7	14	
23	牧之原市	17.0	1	60.2	11	
24	東伊豆町	7.8	24	61.4	9	
25	河津町	7.9	23	12.4	26	
26	南伊豆町	9.8	14	61.1	10	
27	松崎町	5.7	31	—	—	
28	西伊豆町	7.5	25	—	—	
29	函南町	7.4	26	2.8	29	
30	清水町	5.1	32	—	—	
31	長泉町	5.0	33	—	—	
32	小山町	11.5	7	101.7	3	
33	吉田町	13.4	3	102.8	1	
34	川根本町	6.8	29	—	—	
35	森町	8.9	19	31.6	22	

<参考>

静岡県	14.9		239.1	
-----	------	--	-------	--

※1 将来負担比率が負になる場合は「—」と表示している。

6 掛川市の将来負担額(平成25年度末:財政健全化法による債務総額の算出)

(単位：千円)

	平成25年度末債務のうち将来負担比率に算入されるもの	備 考
各種会計		
一般会計	48,124,889	地方債の現在高(普通会計)
簡易水道特別会計	11,407	公営企業債のうち普通会計で負担することとなる残高
公共下水道事業特別会計	14,390,290	
農業集落排水事業特別会計	1,615,841	
浄化槽市町村設置推進事業特別会計	745,523	
水道事業会計	34,884	
地方債残高計	64,922,834	
公債費に準ずるもの(普通会計)	8,828,050	債務負担行為に基づく支出予定額
退職手当負担見込額	6,771,183	一般職+特別職
小 計	80,522,067	
一部事務組合		
東遠学園組合	5,791	一部事務組合の起債償還額のうち、掛川市が負担することとなる残高
東遠広域施設組合	49,285	
東遠地区聖苑組合	907,663	
中東遠看護専門学校組合	0	
掛川市・菊川市衛生施設組合	1,501,629	
大井川広域水道企業団	297,598	
掛川市・袋井市病院企業団	7,322,586	
小 計	10,084,552	
第三セクター等		
掛川市土地開発公社	1,275,365	土地開発公社の長期借入金のうち、普通会計での負担が見込まれる額
小 計	1,275,365	
合 計	91,881,984	

平成25年度末における基金残高

(単位：千円)

会計名	平成25年度末 基金残高
一般会計	6,735,045
特別会計	2,338,927
企業会計	101,000
合 計	9,174,972